



2022年11月10日

株式会社 阿波銀行

大伸産業株式会社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、大伸産業株式会社（代表取締役 篠原 基宏、本社：大阪府大阪市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	大伸産業株式会社
所在地	大阪府大阪市西区靱本町二丁目5番14号
代表者	篠原 基宏
業種	制御・電子機器卸売業
設立	1950年10月19日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年11月10日



大伸産業株式会社 代表取締役 篠原 基宏

当社の経営理念である「お客さまにとって、仕入先にとって、そして自分たちにとって、“真に魅力ある会社”を目指すことは、SDGsの達成と目的を同じくするものであり、役員及び社員一人ひとりがそのことを自覚し、それぞれの役割を果たしていくことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・経済	環境配慮型サービス・製品の提供	省エネや環境負荷の低減につながる製品の取扱い割合を増やす	① 省エネや環境負荷低減につながる製品の仕入先の開拓		
			② 全取扱製品のうち、50%以上環境配慮型製品の取扱い		
社会・経済	格差の是正	従業員にとって働きがいがあり働きやすい職場づくりに取組む	① (1)パート労働者を含むすべての従業員の職務基準を作成 (2)職務のレベルに応じた、等級、評価、処遇制度を整備		
			② すべての従業員に対する同一労働同一賃金		
社会・経済	労働時間の是正	過重労働、長時間労働、サービス残業の発生防止に向けて様々な取り組みを行い、PDCAを回しながら適切な労働時間管理に取組む	① (1)現在の残業、有給使用状況の把握 (2)削減・有給取得に必要な計画を立てて毎年実施		
			② 時間外勤務ゼロ 年次有給休暇消化率80%以上		
環境・経済	省エネ・温室効果ガスの排出削減	CO2を含む温室効果ガス排出削減に取組む	① (1)自社のCO2排出量の把握 (2)毎年CO2削減に必要な計画をたてて実施		
			② 2030年までに50%削減(2020年比)		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals) とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。